



JASDAQ

平成 29 年 8 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社大日光・エンジニアリング
代表者名 代表取締役社長 山口 侑男
(JASDAQ・コード 6635)
問合せ先
役職・氏名 取締役経営企画室長 為崎 靖夫
電話 (0288)26-3930

業績予想との差異に関するお知らせ

平成 29 年 2 月 14 日に公表致しました平成 29 年 12 月期（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）第 2 四半期連結業績予想と、本日公表致しました第 2 四半期決算短信におきまして下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年第 2 四半期連結業績予想値と第 2 四半期決算短信における実績値との差異
（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	12,900	60	20	15	5.74
今回修正 (B)	12,729	79	134	114	44.05
増減額 (B-A)	△170	19	114	99	—
増減率	△1.3%	33.1%	570.2%	666.2%	—
(ご参考) 平成 28 年 12 月期 第 2 四半期実績	12,799	224	187	131	50.34

2. 差異の理由

損益面では、売上高減少から引き続き苦戦を強いられる状況が続いておりますが、国内外における地道なコストダウン活動の効果から、営業利益は 79 百万円（期初予想比 33.1%増）となりました。また、主に中国子会社における人民元高に伴う為替差益の増加、消耗品等売却益、及び支払利息の削減に加え、タイの持分法適用関連会社の損失が減少したことなどから、経常利益は 134 百万円（期初予想比 570.2%増）となりました。

上記に加えて、固定資産売却による特別利益、固定資産除売却による特別損失、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は 114 百万円（期初予想比 666.2%増）となりました。

以上